

議 事 録

令和元年度 第1回堺市学校園性暴力防止対策等推進委員会	
開催日時	令和元年7月30日（火） 午後6：30～午後9：00
開催場所	堺市役所 20階 第1特別会議室
出席委員	大谷委員 大台委員 久保委員 太平委員 原田委員 藤岡委員 李委員 以上7名
事務局職員	中谷教育長 小宅教育監 松下学校教育部長 生徒指導課 中達課長、川端主任指導主事、南谷主任指導主事、 山縣指導主事、高橋指導主事、木田指導主事、江川指導主事、橋本主任指導員、 中森主任指導員
出席職員	学校教育部 太田部理事 男女共同参画センター 瀧口館長
審議案件	1 性暴力被害への予防と対応研修について 2 性暴力相談窓口（クリアファイル）について 3 〔仮称〕性暴力対応ガイドラインについて 4 その他 5 閉会

事務局より

・委員紹介

大谷 敦子 氏	元大阪府警本部 堺少年サポートセンター長
大台 賢史 氏	堺市スクールソーシャルワーカー
久保 幾史 氏	堺市スクールカウンセラー スーパーバイザー
太平 信恵 氏	大阪弁護士会
原田 薫 氏	性暴力救援センター・大阪 SACHICO 運営委員
藤岡 淳子 氏	大阪大学大学院教授
李 節子 氏	長崎県立大学大学院教授

審議案件

(1) 性暴力被害への予防と対応研修について

*報 告

- ・ H29 より 3 年間で研修を行ってきた。本年度が最終の年となる。

(2) 性暴力相談窓口（クリアファイル）について

*報 告

- ・ クリアファイルについて作成に至る経緯等を説明する。

*意 見

- ・ 性暴力相談窓口を周知するような場合、ファイルのように、いつも近くに置くような実用的なものでなければならない。

(3) 性暴力対応ガイドラインについて

*報 告

- ・ 前回の会議で出されたたくさんの意見を反映し修正を行った。
- ・ 10 箇条については、教師に誤解が多いところから書き出している。

*意 見

- ・ タイトルの上に「堺市立学校園」を入れる。
- ・ まずは、学校の教師にアピールしていくための 10 箇条である。これから先にもっと出てくる可能性もある。
- ・ 4 ページ「5 支援者はひとりで抱え込まない」上から 3 行目「重いので」→「深刻で」に書き換える。

*報 告

- ・ チェックリストについて、他府県のものを参考にオリジナルを作成した。

*意 見

- ・ 学校ホームページの掲載写真について、個人的に撮るものや、特定の子どものみを撮ることはしない。
- ・ 1 ページの境界線のあとに「バウンダリー」という言葉を入れる。
- ・ 1 ページの「シークレットゾーン」を「プライベートゾーン」に変更する。
- ・ チェックリストにチェックが入った場合はどうなるのか。
→今のところは未然防止につなげていく必要性があると考えている。セクハラ窓口
に相談する方法もある。

＊報 告

- ・フローチャート図について、仕上がりはカラーを想定している。

＊意 見

- ・フローチャートはシンプルにし、中身を考えることが大切である。
- ・対応窓口は、警察組織の専門機関と一般社団法人がある。
- ・36ページ、事例5、中学校2年生の妊娠の相談について、虐待も疑うことが必要であり、保護者からの性暴力があった場合のことも考えなければならない。
- ・チェックリストについて、もう少し詳しくチェックできるようにあと1～2文入れる。

(4) その他の案件について

＊報 告

- ・「性教育」の推進について意見をもらいたい。

＊意 見

- ・手引書を作成するのは大きなことなので、とりあえず、できることを考えていく方が良い。
- ・性についてのとらえ方がかわってきている。また、性のあやまった情報が拡散している。
- ・あらゆる機関の意見を集約して、学校で教育を行っていく必要がある。
- ・加害者も被害者もつukらない、命を守るという意味で性教育は大切。「人権教育」「防犯教育」「性教育」、この3つはセットで指導していただきたい。
- ・若い男性の加害もたくさん出てきている。男の子にも性教育をしっかりと行ってほしい。
- ・子どもの時から、自分の身体を好きになることが大切である。
- ・家庭でも性教育についての話ができるようにする。

＊事務局より

- ・意見を反映させて、[仮称]性暴力対応ガイドラインを改訂する。次回、第2回堺市学校園性暴力防止対策等推進委員会にて検討をお願いする。